



# 園長だより

NO.22 2022.9.24 (Mon)

すいせんさん  
また、バッタ捕りの  
話題で！

相変わらず続いている子ども達とのバッタ捕り！  
刈り取られてしまった園庭やお山の草も、順調に伸びて  
きたと同時に、バッタさんも時期的に大きく成長してきて、

子ども達曰く

大物(お父さん級の大きさ)が捕れるものだから、子ども達も  
夢中で！朝・お昼(給食後)、そして午後にも、バッタ捕りにいそいそと。  
毎日、そんな中で、子ども達の会話が、とても、都度、バッタは逃がずん  
ば、可愛くて、愛らしいんですよ〜

ちっさなキリギリス  
キリギリスは秋の虫なん  
です。まだ「サイズ」が

可愛いの♡「何か透明だね」キリギリスも「はーはー」  
赤ちゃんって、よく見ると確かにまだ幼くて、  
小さいんです。からだ全体が透明感があるんです。輪になって顔を見  
合わせで見入る君達の方が、よっぽど可愛いよ！と、心の中で呟く私。  
ジャンボバッタを捕まえて、「うりゃあ〜！」と雄叫びを挙げて

以前も  
お伝えしましたが

「びよん、びよん」ジャンプして皆さんで大喜びしたり！  
子ども達なりのルールがしっかりあるんです。赤ちゃんサイズは  
みんなで見ただけで捕まえられないこと。

捕まえたバッタは、逃がしてあげ、自然に返すこと。捕まえた子は、それなりの  
ステータスは得られますが、命です。誰のものでもなく皆で喜びを分かち  
合う事。

バッタ捕りという、ひとつの遊びの中に、小さくとも尊重し、尊厳を感じて  
命に向き合ったり、規範ルールを作り、互いに守り社会が成立していること。  
正に「遊びは学び」なんだなと、躍動する子ども達の「喜-憂」する表情を  
みて実感します。

PS. ある朝、いつもの様に「園長先生」と誘いに来てくれたんですが、  
電話対応で手が離せず... 何回か声を掛けてくれても... 行けず...  
すると暫らくして、「もう、いいでね」と言いに来てくれ...「致しかた  
なかったにしても、悪かったなあ」と内心 猛省しつついると、これ又、  
暫くして、息を弾ませ、「じゃ〜行くよ〜」とひと言、どうやら  
私が手が空くまで、他の子と鬼ごっこをしていて遊んでいたらしい。その名残で  
まだ息が荒く、そのまま、誘いに来てくれたんですね〜 子ども達の  
「じゃ〜」には、「ちょっと時間潰ししたいぞ」の思いが詰まって  
いたんですね。こうして誘ってくれる幸せを噛み締めつつ、「はあ〜い」  
と、飛び出して行く私の朝のルーティン 改めて です!!

